

福山市産業支援者連絡会議 議事要旨

日 時: 2025年(令和7年)11月26日(水)13:00～14:00

場 所: 福山市役所本庁舎 1階 多目的室

出席団体

福山北商工会、福山あしな商工会、神辺町商工会、沼隈内海商工会、
広島県中小企業団体中央会福山支所、(株)日本政策金融公庫福山支店、
福山公共職業安定所、広島県立総合技術研究所東部工業技術センター、
広島県商工労働局商工労働総務課東部産業支援担当、
福山市経済環境局経済部産業振興課

議事内容

■市内事業者の状況について

- ・人材不足、物価高騰が共通課題。

【産業支援機関の取組紹介】

●業種別の状況

○製造業

- ・人手不足対策としての近隣の学校とのつながりについて
HP や求人募集への掲載はあまり効果が無い。近隣の大学や高校等と直接つながりを持つ企業もある。神辺町商工会青年部は、高校へ出前授業に行く等して、域内の企業の認知度向上に繋げている。瀬戸内ファクトリービューでは、家族連れも多く訪れた。販路開拓よりも人材確保に繋げるための取組であり、良いきっかけになった。
- ・業績好調で、工場新設や機械整備に積極的だが、場所が無いと相談あり。
⇒市)市街化調整区域の規制緩和により、工場立地が可能になった地域がある。
工場新設の相談等希望があれば、担当部署から説明に行くことも可能であり、共有してほしい。

○飲食業

- ・売上不振、後継者不在による廃業が増加
事業赤字や後継者不在等により、事業継続が難しい状態。事業承継を検討することも難しく、商工会としても、廃業に向けた支援をすることしかできない。一部開業もあるが、昔からの会員は廃業が増加。

○サービス業

- ・DX のニーズについて
HP 作成料が値下がり傾向。保守料を取って利益を上げることに限界があるため、事業者からデジタル化したい事案を聞き取り、提案している。商工会としては、DX 化の取組についてグリーンな企業生産性等向上支援事業補助金の活用を提

案している。

●価格転嫁

- ・広島県とよろず支援拠点の主催で、福山会場でも価格転嫁・価格交渉に関するワークショップが開催。
- ・原材料高騰による価格転嫁は理解を得やすいが、人件費高騰によるものは認められにくい。
- ・CO2 削減の生産体制を導入しても、非対応の企業と一緒に価格競争させられるため、厳しい。
- ・ある団体によるアンケート(市内事業所約 400 社を対象に7月実施)では、75%の企業が価格転嫁してる。そのうち、転嫁率1～2割が 35%。価格転嫁の有無だけでなく、転嫁率がポイントとなってくる。

●人手不足

- ・市)企業が採用したい人数のうち、何割不足しているか、人材の不足率のようなものは把握できるのか。
⇒難しい。そもそも小規模な企業は採用計画がなく、欠員補充や、受注増に伴う補充が一般的。

■第2期産業振興アクションプランの策定について

- ・産業支援者連絡会議構成機関とともに、各分野の専門家からの意見を聴取しながら策定予定。「福山みらい創造ビジョン」に基づく商工業分野の実行計画として位置づけ。2026 年 6 月の策定を予定。計画期間は 2026 年度～2030 年度の 5 年間。
- ・アクションプラン策定が 2026 年度途中になるため、全ての事業を予算化することはできないが、必要に応じて補正予算も検討したい。

■その他

- ・市)商工中金のニュースリリースを情報共有。
- ・県)国に合わせ、物価高の影響緩和として緊急で対応すべき事業について12月議会で補正予算提出予定。2 月補正でも必要な対策を進めていく。
- ・県の米国関税等緊急対策補助金(海外販路拡大支援・設備投資支援)は、どちらも予算額を超える申請あり。引き続き、求められる支援を12月補正に計上していく。